

杉戸宿開宿400年プロジェクト

日光街道杉戸宿 宿場まつり

—No.62 杉戸町—

【事業の内容】

杉戸町は日光街道5番目の宿場町として栄えた歴史があり、2016年（平成28年）に開宿400年を迎えました。この杉戸宿開宿400年を記念し、記念イベントとなる「日光街道 杉戸宿開宿400年 第2回杉戸宿宿場まつり」を10月30日（日）に開催するとともに、10月を開宿400年スペシャル月間として、各種イベントを実施し、町の観光PRをすることで、知名度を向上させ観光客を呼び込み、町の活性化につなげます。

【事業年度】

平成25年度～（杉戸宿開宿400年プロジェクト）

【予算額(千円)】

27,899千円（平成28年度）



（杉戸宿開宿400年記念ロゴマーク）

【財源】

地方創生関連交付金、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

杉戸町は日光街道5番目の宿場町として栄えた歴史があり、2016年（平成28年）に開宿400年を迎えました。

開宿400年を契機に町の活性化に向け、

- （1）街ににぎわいを（観光客の誘致による中心市街地の活性化）
- （2）輝かしい歴史を（郷土の歴史に対する町民の理解と誇りの醸成）
- （3）杉戸町の魅力を（杉戸らしさを全国に発信）
- （4）地域に豊かさを（杉戸宿ブランドを創出し経済の活性化）

以上をテーマに、平成 25 年度より魅力再発見ワークショップを開催、まち歩きマップ・ブックの作成、観光案内ボランティア「杉戸宿案内人」の発足、案内看板の設置、道標の整備などを進めてきました。

また、杉戸宿グルメの創出をはじめ、杉戸宿開宿 400 年関連の取組を更に進めていきます。

【事業のPRポイント】

【日光街道杉戸宿宿場まつり：10月30日（日）開催】

＜事業内容（予定）＞

- ・ 町内保・幼・小・中・高等学校によるストリートライブ、ダンス
- ・ 開宿 400 年ロゴを使ったフラッグでの鼓笛隊演奏
- ・ よさこいや阿波踊り
- ・ お囃子、太鼓の演奏など
- ・ 輿会（宮睦会）による神輿渡御、提灯行列
- ・ 甲冑などの時代装束で宿場町の往来を再現する杉戸宿町人行列
- ・ 町内の商店等による商工物産市や宿場マルシェ、福引抽選会
- ・ 杉戸宿グルメ紹介、杉戸宿案内人による杉戸宿PR
- ・ 全員参加による、杉戸宿開宿 400 年を記念した風船セレモニー 等

【事業実績・成果・今後の展開】

＜平成25年度＞

- ・ 杉戸宿に関心のある方30名で構成されたワークショップにより、「日光街道杉戸宿まちあるきマップ」を作成。
- ・ 杉戸宿の歴史や文化等を案内する杉戸宿観光ボランティアガイド「杉戸宿案内人」が誕生。

＜平成26年度＞

- ・ プロジェクト第1弾：杉戸町の歴史や食文化をテーマとした、新たな杉戸宿グルメの創出の推進。
- ・ プロジェクト第2弾：「まちあるきマップ」には掲載できなかったワークショップのご意見や知識など、杉戸宿の魅力を更に発信するため、「杉戸宿まち歩きブック」を作成。

＜平成 27 年度＞

- ・ プロジェクト第3弾：大落古利根川への“こいのぼり”掲揚の復活

- ・プロジェクト第4弾：「杉戸宿新グルメ『杉戸宿たまふわ』」中間発表会
- ・プロジェクト第5弾：杉戸宿新グルメ第1号『金ごま入りたまふわミルクセーキ』販売開始
- ・プロジェクト第6弾：『杉戸宿開宿400年記念ロゴマーク』完成
- ・プロジェクト第7弾：『第1回杉戸宿宿場まつり』開催
- ・プロジェクト第8弾：杉戸宿開宿400年記念フリーペーパー『スギトゴト』創刊
- ・プロジェクト第9弾：新マスコットキャラクター『すぎたろう』誕生
- ・プロジェクト第10弾：「杉戸宿新グルメ」商品化・販売開始（たまふわ杉農うどん、たまふわクリームシフォン、たまとろたまふわプリン）
- ・プロジェクト第11弾：開宿400年記念 特別編集版「るるぶ杉戸」発行
- ・プロジェクト第12弾：英語・中国語版「杉戸宿まちあるきブック」発行

<平成28年度>

- ・ 昔の写真や道具、古民家の絵画の展示
- ・ 開宿400年記念シンポジウムや歴史
- ・ 杉戸宿スタンプラリー（対象：小・中学生）
- ・ 日光街道埼玉六宿連携スタンプラリー

〔 連絡先 〕

商工観光課魅力発信担当 0480（33）1111（内線310）